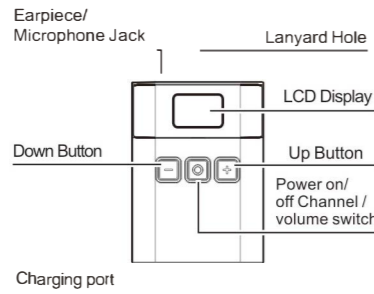




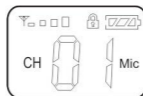
ツアーガイドシステム 取扱説明書 TT122

ボタンと機能

この製品は、1人の人が同時に無数の人と長距離で干渉することなく話すことを可能にします(送信者のみが受信機に信号を送信します)

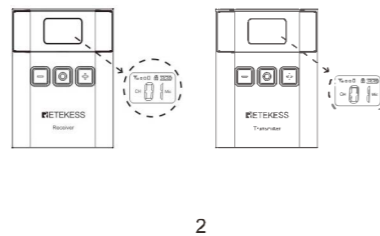


LCDディスプレイ

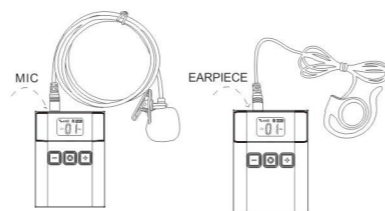


取扱説明

ステップ1: オープン
電源オンボタン[○]を3秒間長押しすると、送信機/受信機がオンになります。信号、電池残量、音量、チャンネルのアイコンがLCDディスプレイに表示されます(信号アイコンは、受信機と送信機が同じチャンネルにある場合にのみ表示されます)。

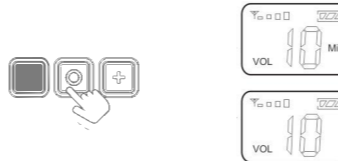


ステップ2: マイク/イヤピースを挿入
マイクをイヤピーストランスミッター、ジャック、およびインサートレシーバーのMICジャックに挿入します。イヤピース
注: 内部の充電ピンの損傷を防ぐために、マイク/イヤホンを充電ポートに誤って挿入しないでください



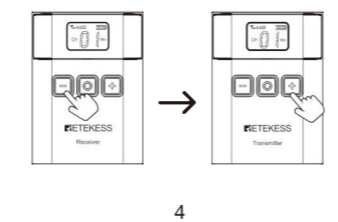
ステップ3: 音量を調整する

ディスプレイにVOLアイコンが表示されたら電源ボタン[○]を押し、上ボタン[+]を押して音量を上げ、下ボタン[-]を押して音量を下げます送信機と受信機には10の音量レベルがあります。



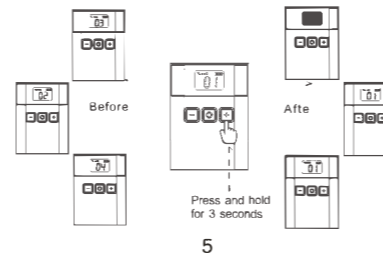
ステップ4: チャンネルを設定する 手動による

ディスプレイにCHアイコンが表示されたら電源ボタン[○]を押し、上ボタン[+]または下ボタン[-]を押して、使用するチャンネルを選択します。
注: 送信機と受信機がチャンネルを設定するときと同じ方法です



チャンネル同期
これは、送信機と受信機のチャンネルを設定するためのより高速な方法です。受信機のチャンネルを1つずつ変更する代わりに、送信機を操作することでチャンネルを同期させることができます。

A.送信機の電源ボタン[○]を押すと、ディスプレイにCHアイコンが表示されます。
B.上[+]または下[-]ボタンを押して、使用したいチャンネルを選択します。
C.次に上ボタン[+]を長押しして受信機の画面を観察し、受信機のチャンネルが変更されたら上ボタン[+]を放します。その後、チャンネルが正常に同期されます。
注: チャンネル同期を設定するときは、受信機がオンになっている、送信機から5m以内であることを確認してください



キーストロップ機能
ロングロック/キーを押したままにする下ボタン[-]を3秒間押し

ワンキーミュート
送信機と受信機のチャンネル同期すべての受信機スピーカーをすばやく調整してミュートする必要がある場合は、送信機を操作するだけです

1.送信機の[○]ボタンを押すと、画面に「CH」アイコンが表示されます。
2.もう一度[○]ボタンを押すと、画面に「VOL」アイコンが表示されます。
3. [-]ボタンをもう一度押し続けて、離します送信機の画面を観察します。「Xスピーカー」が表示されたらボタンを離すと、ワンキーミュートが成功します。
4.もう一度[-]ボタンを長押ししてミュートを解除します。

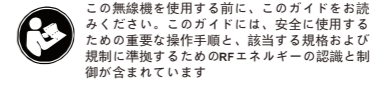
ワンキーシャットダウン
送信機と受信機のチャンネル同期すべての受信機の電源をオフにする必要がある場合は、送信機を操作します
1.送信機のボタン[○]を押すと、画面に「CH」アイコンが表示されます。
2.もう一度ボタンを押すと、[○]画面に「VOL」アイコンが表示されます

[+]ボタンをもう一度押し続けて、送信機の画面を観察します。「MIC」が点滅したら、ボタンを離すと、ボタン1つでシャットダウンできます。

注意:

- 充電前に送信機の電源を切る充電中はバッテリーアイコンが点滅し、充電が完了すると点滅が止まり、満タンになります
- 慎重に取り扱い、落下しないようにしてください。
- すでに制御されている受信機のチャンネルは、隣接する送信機によって変更されません。他のグループはいつでも同じ場所で任意の操作によって
- 異なるグループに同じチャンネルを同じ場所で同じ時間に使用しないでください
- マイクと口の間の最適な距離は3cmから4cmです。同時通訳の場合、周波数間の干渉を防ぐために、ギャップの大きいチャンネルを使用することをお勧めします。

RF ENERGY EXPOSURE AND PRODUCT SAFETY GUIDE



この無線機を使用する前に、このガイドをお読みください。このガイドには、安全に使用するための重要な操作手順と、該当する規格および規制に準拠するためのRFエネルギーの認識と制御が含まれています

聴覚を保護

- 仕事をするのに必要な最小の音量を使用してください。
- 騒がしい環境にいる場合のみ音量を上げてください。
- ヘッドセットまたはイヤピースを追加する前に、音量を下げてください。
- ヘッドセットまたはイヤピースを大音量で使用する時間を制限します。
- ヘッドセットやイヤピースなしでラジオを使用する場合は、ラジオのスピーカーを耳に直接当てないでください。
- イヤホンには注意して使用してください。イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は難聴を引き起こす可能性があります。注: ソースからの大きなノイズに長時間さらされると、一時的または永続的に聴覚に影響を与える可能性があります。ラジオの音量が大きいほど、聴覚に影響を与えるまでに必要な時間は短くなります。大きな音による聴覚障害は、最初は検出できない場合があります。累積的な影響を与える可能性があります。

やけどを避ける アンテナ

アンテナが損傷している携帯ラジオは使用しないでください。使用中に損傷したアンテナが皮膚に接触すると、軽度の火傷を負う可能性があります。

バッテリー (該当する場合)

宝飾品、鍵、チェーンなどの導電性材料が電池の露出した端子に触れると、電気回路が完成し(電池が短絡)、熱くなり、火傷などの人身事故を引き起こす可能性があります。バッテリーの取り扱いには注意してください。特に、ポケット、ハンドバッグ、または金属製の物体が入ったその他の容器にバッテリーを入れる場合は注意してください。

トランスミッション

トランスミッターを長時間の送信に使用すると、ラジエーターとシャーシが高温になります。

禁止

- 屋外や湿気の多い環境では充電器を使用しないでください。乾燥した場所/条件でのみ使用してください。
- 充電器を分解しないでください。感電や火災の危険があります。
- 充電器が破損または損傷している場合は、充電器を操作しないでください。
- エアバッグの上の領域またはエアバッグ展開領域に携帯ラジオを置かないでください。ラジオは大きな力で推進され、エアバッグが膨張すると車両の乗員に重傷を負わせる可能性があります。

リスクを減らすために

- 充電器を外すときは、コードではなくプラグを引っ張ってください。
- メンテナンスやクリーニングを行う前に、充電器をACコンセントから抜いてください。
- 修理とサービスに関するサポートについては、Retekessにお問い合わせください。
- アダプターは機器の近くに設置し、簡単にアクセスできるものでなければなりません。
- バッテリーを間違ったタイプと交換すると、爆発の危険があります。使用済みのバッテリーは、指示に従って廃棄してください。
- アダプターは機器の近くに設置し、簡単にアクセスできるようにする必要があります。
- アダプターの切断装置と見なされるプラグ。
- EUTの動作温度は指定された範囲を超えることはできません。

承認されたアクセサリ

- この無線機は、製品に付属または指定されているRetekessアクセサリと一緒に使用すると、RF曝露ガイドラインに適合します。他のアクセサリを使用すると、RF曝露ガイドラインへの準拠が保証されず、規制に違反する可能性があります。
- 無線モデル用のRetekess承認済みアクセサリのリストについては、次のWebサイトにアクセスしてください。

Retekess相談窓口

メールアドレス: support@retekess.jp
平日9:15~12:00/13:00~17:30
(土・日・祝日・年末年始GW・夏期休業等を除く)
製造元
Henan Eshow Electronic Commerce Co.,Ltd公
公式ウェブサイトhttp://retekess.jp/
YouTube: 【公式】RetekessJP「レテケス」
Twitter: @JPRetekess
Instagram: retekessjp



RETEKLESS 保証カード

型番: _____
シリアルナンバー: _____
購入日: _____
ディーラー: _____
電話: _____
ユーザー名: _____
携帯電話: _____
ご国: _____
ご住所: _____
郵便番号: _____
メール: _____

RETEKLESS 保証カード

備考

1. この保証書はユーザーが保管する必要があり、紛失した場合の交換はできません。
 2. ほとんどの新製品には、購入日から1年間の製造保証が付いています。
 3. ユーザーは保証とアフターサービスを受けることができます
以下のように:
・購入した販売者に連絡してください。
・地元の修理センターで修理された製品
4. 保証サービスの場合、確認のために実際の販売者からの購入の領収書を提出する必要があります。
- 保証範囲からの除外:**
1. 事故により破損した製品。
 2. 製品の誤用または乱用の場合、または許可されていない変更または修理の結果として。
 3. シリアル番号が変更、汚損、または削除された場合。

